

2026 年 1 月 9 日 第 3538 回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 山下 会長

<斉 唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<唱 和> 「四つのテスト」

<ゲスト紹介> *公益財団法人横須賀青年会議所

理事長 小 菅 大 真 様

専務理事 奥 津 綾 乃 様

*米山奨学生 朴 裁 潤 様

<誕 生 月 祝> *江 沢 暁 彦 (S.16) *比 護 友 一 (S.46)

*小佐野 圭 三 (S.19) *秋 葉 菜保子 (S.31)

*鈴木 豊 司 (S.48) *松 川 太 郎 (S.53)

*永 井 信 年 (S.59) *齋 藤 麻 梨 (S.58)

*齋 藤 秀 人 (S.42) *曾 我 宗 光 (S.45)

*鈴木 孝 博 (S.41) *小保内 洋 子 (S.45)

*飯 塚 進一郎 (S.25) *野 坂 英 八 (S.24)

各会員

<入 会 月 祝> *三 堀 孝 夫 *堀 川 泰 輝 *松 川 太 郎

各会員

<会 長 報 告> *ガバナー事務所より

・下半期人頭分担金送金依頼について

・ロータリーレート変更のお知らせ 昨年12月と同じ1ドル156円

・2026年度 2780地区米山奨学生世話クラブ・カウンセラー募集のご案内について

・ネパール安全な飲料水供給PJ完成確認のための訪問団員募集について
(2月28日～3月4日)

<公益社団法人横須賀青年会議所理事長よりご挨拶>

<委 員 長 報 告> *雑誌委員会 濱田委員長よりロータリーの友1月号

*出席委員会 浅葉委員より12月出席率報告 12月平均出席率 71.03%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
12月5日	114名	102名	69名(2名)	33名	4名	71.57%
12日	114名	103名	64名(4名)	39名	3名	65.05%
19日	114名	102名	73名(0名)	29名	5名	76.47%

<米山奨学生への奨学金の授与>

<幹 事 報 告> *ガバナー月信 NO.6

<出 席 報 告> *出席委員会 浅葉委員長から1月9日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠 席 数	メイクアップ数	出 席 率
113名	105名	76名(3名)	29名	1名	73.33%

メイクアップ：新倉会員 横須賀南西RC

<ニコニコ報告>

・三 役 公益社団法人横須賀青年会議所 理事長小菅大真様、専務理事 奥津綾乃様、米山奨学生 朴裁潤様、明けましておめでとうございます。ようこそお越し下さいました。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

・梶 木、植 田、八 巻、齋藤 慎、鈴木 健、岡田 慎、
浅 葉、臼 井、齋藤 慎、宮 島、吉田 備 各会員

(公社)横須賀青年会議所理事長 小菅大真様、専務理事 奥津綾乃様、米山奨学生

朴 裁潤様ようこそお越し下さいました。ごゆっくり例会をお楽しみください。

- ・比 護、小佐野、秋 葉、鈴木豊、松 川、齋藤 倫、
齋藤 倫、鈴木 倫、小保内、飯 塚、野 坂 各会員 誕生月祝いとして
- ・堀 川、松 川 両会員 入会月祝いとして
- ・鈴木 倫、臼 井 両会員 誕生月祝い（12月）として
- ・鈴木 倫 会員 入会月祝いとして
- ・三 役 八木会員、田中会員、本日の卓話宜しくお願い致します！十分な時間を取れず申し訳ありませんが、お話し楽しみにしております！
- ・大野 倫、荻 山、木 村、加藤 倫、渡 邊、高橋 倫、秋 葉、井 上、植 田、権 田、江 口、
真 野、角 井、八 巻、椿、松本 倫、齋藤 倫、小 澤、佐久間、田 邊、小林 (-)、小佐野、
齋藤 倫、徳 永、根 岸、北 村、杵 渕、岡田 倫、小山 倫、杉 浦、吉田 倫、澤 田、
萩 原、齋藤 倫、吉田 倫、長 尾、宮 島、小山 倫、藤 村、川 名、濱 田、前 田 各会員
本日は午年生まれの年男・八木達也会員、年女・田中由紀子会員の卓話です。明るい二人のお話し楽しみです。よろしくお祈いします。
- ・八 木 会員 今年最初の例会で新会員卓話以来の約20年ぶりの卓話をさせて頂き光栄です。サプライズ報告もありますのでお楽しみに。
- ・田 中 会員 本日、年女卓話をさせて頂きます。よろしくお祈い致します。
- ・石 田、角 井、田 邊、齋藤 倫、根 岸、徳 永、飯 塚、川 名、濱 田 各会員
新年あけましておめでとうございます。午年は力強さや前進を象徴する年であり、
2026年は特に新しい挑戦や成長の機会が期待される年です。今年もよろしくお祈いします。
- ・小林 倫 会員 明けましておめでとうございます。今年は午年、走って、走って、走って、走って、走って、走りまくりましょう！！
- ・堀 川 会員 箱根駅伝では我が母校・青山学院が2度目の3連覇を達成しました！私は何も貢献していませんが、TVの前で応援だけしてました。黒田朝日君がスゴイ！！
- ・萩 原、石 川、三 井、物 井 各会員
年明けの駅伝に始まり高校ラグビー、高校サッカー、高校バレー、今年は冬季オリンピックやサッカーワールドカップなども開催されスポーツから目の離せない年になりそうですね。皆で応援していきましょう。

「 年 男 ・ 年 女 卓 話 」

田 中 由紀子 会員

皆さま、あらためましてこんにちは。田中でございます。本日は年始のお忙しい中、このような貴重なお時間をいただき、ありがとうございます。今年、私は年女という節目の年を迎えました。今日はその節目として、「これまでの人生を振り返りながら、これからのロータリー人生、そして自分自身の生き方」についてお話しさせていただきたいと思います。人生の節目ごとに、私が何を感じ、何を学んできたのかを、皆さまと共有できればと思います。48年前の午年、熊本県八代市というところで農家を営む両親のもと三姉妹の末っ子として生まれました。8人家族の大所帯でとても賑やかだった事を覚えています。3歳頃の写真です。なぜ風呂敷を被って足に湿布を貼っているのか謎ですが、とにかく好奇心旺盛で、“落ち着きのない子ども”だったそうです。今振り返ると、この「知りたい」「やってみたい」という気持ちは、今の自分の原点なのかもしれないと感じています。5つ上の姉と3つ上の姉との写真です。農業を営む両親はとても忙しかっ

たので祖父母に面倒をみてもらいながら姉妹3人仲良く過ごしていました。こちらは昭和25年生まれのパと27年生まれのパ母との写真です。2回目の年女である12歳では7歳で始めた卓球で団体戦ではありますが全国大会で3位に入り本格的に卓球に打ち込んでおりました。とにかく練習漬け、トレーニング漬けの日々で強く覚えているのは片道6キロある小学校までの農道を毎日走り続けたことでした。走り続けられたのは父がトラックにランドセルを乗せてランニングに毎朝付き合ってくれたからです。私がゆっくり走るそぶりを見せると鬼の形相でクラクションを鳴らしてきます。雨が降った日には走らなくて済むので毎朝、雨よ、降ってくれ！と念じていました。15歳からは特待生として高校に進み更に生活面、食事面と徹底管理された寮で卓球漬けの日々を送っておりました。この時期に学んだのは、一人では生きていけないということです。友人や家族、先生などいろんな方の支えを受けながら成長してきたとより強く感じる時期でした。次は24歳の頃です。社会に出て、「責任を持つ」ということを強く意識し始めた時期でした。

同時にこれ以上実業団で卓球を続けていてももう年齢的にも日本代表には選ばれないと限界を感じた時期でもありました。仕事の楽しさと同時に、うまくいかないこと、悩むことも増え、「自分は何のために働き実業団選手として卓球をやっているのか」と考えるようになりました。今思うと、この頃は“自分のことで精一杯”だったように感じます。中央大学時代、全日本インカレを優勝し学生の日本代表として数々の国際大会で戦ってきた時の練習量と熱量はもう越えられないとも思い24歳の時に引退を決意しました。この写真は全日本実業団の団体で優勝した時の打ち上げの写真です。監督、コーチ、同僚に支えられてこの試合を最後に引退しました。24歳で引退してからは実業団で入った会社でOLをしながら休みの日にはコーチとしていろんな方に卓球を教えていました。こちらはコシノジュンコさんのコーチをやっていた時の写真です。

一番左がジュンコさんのご主人です。レッスン終えた後は毎回ご自宅で食事をしながらいろんな話をさせていただきました。次は36歳の頃です。36歳で出産を経験しました。仕事や家庭、さまざまな役割を持つ中で、「自分だけ良ければいい」という考え方が、少しずつ変わってきた時期でした。誰かのために動くこと、地域や社会との関わりの中で生きていることを実感し始めたのもこの頃です。出産した翌年卓球スクールを衣笠で立ち上げたのですが1歳になる乳飲み子を背負いながら朝から晩までレッスンをしていたのを懐かしく思います。現在では北海道から大阪までの9拠点で卓球スクールを開校しています。去年からは三浦市の油壺にあります老人ホームで卓球と体操を融合したプログラムを提供したくさんの方に運動を楽しんでもらっています。今、私は経営を中心に動いておりレッスンを行う事は少なくなりましたが全国大会に出場する選手などの強化に携わることもあります。横須賀から心と体の強い子供達を輩出できるようこれからも頑張っていく所存です。ここまで振り返ってみると、私の人生は決して一直線ではなく、迷い、悩み、遠回りをしながら進んできたのだと感じます。でも、その一つ一つの経験が、今の自分を作ってくれています。

現在日本は超高齢化社会です。横須賀ロータリークラブの会員の方には金融機関の方も複数いらっしゃいますので資産寿命は金融機関の方に頑張って頂き、健康寿命の方は私と昨年入会されたテニススクールを経営されている石川さんとで頑張っていこうと思っています。ロータリークラブの皆様とともに、学び、行動し、そして楽しみながら、少しでも社会に貢献できる一年にしていきたいと考えています。本日は、私自身の人生の振り返りという、少し個人的なお話をさせていただきました。こうして振り返る機会をいただけたのもロータリークラブという温かい場があるからこそだと、心から感謝しています。これからも年齢を重ねながら、初心を忘れず、皆さまとともに歩んでいけたら幸いです。ご清聴、誠にありがとうございました。

八 木 達 也 会 員

皆様、新年明けましておめでとうございます。今年の第一例会に卓話のチャンスを与えていただきまして大変光栄です。ありがとうございます。私は還暦の年男でございます。ロータリーに入ってからJ Cが三浦だったので、岡田英城先輩のことはロータリーに入ってから出会い、ロータリーバンドで活動をしました。その後、うちの兄の映画や映画会社を作るなど、一緒にやっていただきました。この中で、タクシーのシールドやグリップを作ることも岡田さんとやらせていただきました。最近では横須賀交通安全協会のシステムを変更しました。私は芙蓉交通と信弘自動車という自動車整備会社をやっています。私と岡田さんで、この4月からもう2社と一緒に経営することになりました。横バス観光株式会社と臨港タクシー株式会社です。この2つを私と岡田さんと共同出資し、4月1日に2人の代表取締役で2社をやっていきます。ロータリーで出会った縁でこういうことができました。私と岡田さんに任せていただいた市川社長に感謝するとともに、平松会員、杵渕会員にもご協力いただき、権田会員にもM&A

でお世話になっております。製造業である岡田さんの技術力とタクシー業の駆動力との融合ということで、単なる事業拡大ではなく、異業種が同じ未来を目指すことで無限の可能性を見出すことができると思います。従来のヒューマンモビリティの在り方を根本から覆し、移動を通じて地域の未来をデザインし、先進テクノロジー、AI、IT技術力と先進サービス、温かさ、新しさを駆使し、地域経済を支える新たな移動モデルをここ横須賀から発信し拡大していきたいと思っております。今後ともご愛顧のほどよろしくお願い致します。

※内容を省略して掲載しています。



<閉会・点鐘> 13:30 山下 会長

週報担当 秋葉 菜保子